

昭和53年度決算報告書

(昭和53年4月1日～昭和54年3月31日)

法政大学第一高等学校同窓会

(单位円)

取 入 の 部	科 目	53年度予算	53年度決算	差 異
	前年度繰越金	780,546	780,546	0
	会費	700,000	748,000	△ 48,000
	利息子		18,670	△ 18,670
	広告代入	72,000	39,000	33,000
	雑収入		10,000	△ 10,000
合計		1,552,546	1,596,216	△ 43,670

項 目		53年度予算	53年度支出	差 異
支 出 の 部	経常費	人件費 通信費 印刷費 会議費	105,000 24,000 50,400 160,000	105,000 44,300 73,300 312,895
	事業費	同窓会報發行費 名簿編纂関係費 規約・細則関係費 53年度収支予算編成費 学校行事協力費	530,000 222,800 6,600 3,000 292,000	231,520 7,002 0 0 178,800
	慶弔費	慶弔費用	30,000	10,000
	予備費		128,746	128,746
	次年度繰越		633,399	△ 633,399
合 計		1,552,546	1,596,216	△ 43,670

第二回 準備。プロジェクト

第三回会合は昭和五十四年一月十七日午後六時より法政大学校友会館で開催されました。当日は同窓会総会のマスター一ランに就いて種々討議が加えられました。

法政大学第一高等学校同窓会役員会は昭和五十三年十月五日(木)午後六時より新宿印刷会館に於て開催されました。

当日の議題は別紙通りですが、昭和五十四年度総会開催までのスケジュールに就いて真剣な討議が交されました。

大要しますと総会開催期日は六月十日(日)予備日六月十七日(日)は「父の日」に当るので予備日は設けない。会場は会費との兼ね合もある前回母校体育馆を使用したので今回は外部で開催したい。

会費は出来るだけ参加出来る範囲と云う所から五千円前后にしほらく約一千名参加出来る場所とな

より懇親会開催した事になつた。
二、場所会費について、会場は第一部総会を渋谷名画座、第二部懇親会を東急ゴールデンホールで開催する事に決定。会費に就いては会員券五、〇〇円で名画座の使用料から懇親会立食パーティ飲食費・通信費、その他雜費を含んでかなり内容を充実させる事になった。

総会の基本方針、開会日時・場所会費が一月二十三日(火)の委員会で決議されれば、A 総会実施要領の策定(配布)の印刷配布 C 総会当日の運営委員会で検討する。

(議事・宴席) 来賓関係 D その他等を第三回以降のプロジェクト委員会で検討する。

尚総会の議題は、一同懇親会規約

るに議論百出したが結局候補として、ゴーリン・ホール（渋谷・椿山莊・目白）・八芳園（月黒）にし、ばられ后は総会準備プロジェクト委員会に一任する事になつた。役員改選については現執行部より選考委員会を設けて次期役員の選出をする事で選考委員会に一任。会費については再三にわたつて会報でも貧困財政を訴えているが、値上げについては前総会で五百円から一千円に上げたばかりなので五十六年度総会で検討する事にして、かかる事になつた。名簿編纂については五十四年六月発刊で銳意努力中であるが、各委員に発送名調査表の回収が順調でない爲名

度導入について B 役員任期について
C 組織改正による広報委員会設置について D その他
二、役員の改選について 現執行部による選考委員会を設置して慎重審議して役員を選出す。
三、その他 昭和六十年が母校法政大学第一高等学校創立五十周年に当るので同窓会としても祝事を企画する。以上三項目を議題として予定している。

当日の出席者は左記の通り(敬称略) 倉沢彌九 柴田孝一郎 松崎和夫 山田輝二郎 士橋淳宏 岩村元雄
藤英雄 野村光一 大木典 西沢俊威雄
桜井勇 山口栄一郎 加藤喜一郎

神林厚秀

簿作成に支障をきたしている。ク
ラス単位の名簿でも出来ていれば
事務局まで郵送していただきたい。
規約・組織の改正については実
体に即した改革案を図る為種々検討
を加えているが今般は財政的見地
から会費のあり方について、又会
報の発展・充実を図る意味から現
務委員会から分離独立して仮称広
報委員会の設置等検討している。
尚昭和六十年で母校創立五十周年
年を迎えるので何か企画を検討し
て欲しい旨中村副会長より提案が
あり総会にはかることになった。
当日の出席者は左記の通り（敬称
略）

第二回 委員總會開催

武男、中川和夫、山口栄二郎、宮
条正雄、清水昭三郎、森健、川中
政治、桜井勇、水上昭夫、積田見
孝、松崎和夫、片岡秀之、前田出
宏、山田舜一郎、秋口正徳、渡辺
仁、土橋淳宏、筒井裕康、山田當
藏、岩村元雄、常深一成、今井進
男、谷宮雄一、川城官工門、新井
幸雄、東条忠彰、井手上豊介、加
藤重紀、杉村勝弘、坂村雄介、大
川満、諏訪天男、相沢勇夫、吉野
紀夫、神林厚秀、田中芳男、新井
英晴、宮地卓夫、古山巧、田中芳
夫、岩上絃、檜星東太郎、村木茂
田辺勉、專光英夫、須崎賢一、北
岡正剛

昭和五十三年度第二回委員総会は、昭和五十四年一月二十三日(火)午後六時より新年顔合せ会を兼ね渋谷の東急グーレンホールに於て開催されました。当日は馬場副校長をはじめ、同窓会執行部、委員六十六名が出席、議案に対し

法政大学第一高等学校同窓会昭和五十三年度第二回委員総会は、倉沢会長、中村、斎藤、野村、聖一、会長の議長選出によつて議事が進行されました。

だいている事は大変ありがとうございましたく感謝致して居ります。昭和五十五年に法政大学は創立一〇〇周年を迎ますが、その附属校として中学・商業・高校の歴史を振り返ると非常に味わい深いものがあります。最近の法政一中・一高は二、三年で一億三千万円をかけて環境を整備して居り、同窓生の皆様にもはずかしくない立派な教育環境になり、生徒の学力もかなりレベルアップされました。同窓生の皆様には懐かしい土居先生も毎日お元気にお過しとの事です。

た。 事で方場一致で可決承認されました。
B 同窓会報の発行
岩村総務委員長より昨年十月に
第三号の会報を発行しました。同
窓会資金の中で会報発行費はかなり
のウエイドを占めますので、少
しでも印刷代を安くと三号から印
刷所を変えました。しかし会報の
一部単価約九十円の予算の中五士
円が郵送代であり、封筒代五円
宛名書アルベイト代五円とすると
どうしても発行部数に限度が出て
しまって現在三千部発行しているが
いる。発行期日は遅っているが
より先発されたものを第一とする
で方場一致で可決承認されまし

同窓会がますます発展して母校に堪え
御協力いただける事は感謝に堪え
ません」とのご挨拶があり、議事
に入るに当たり恒例により議長に倉
沢会長が選出された。

選を行ふので、以下各項の説明があります。

(イ) 会長・副会長

規約第四条により、任期は二年となつており、第五条の委員において推舉するの規定により昭和五十四年同窓会総会をもつて改選する。改選の具体的な方法については次により行う。

a 現執行部(会長・副会長・各委員長・各副委員長)が即選考し、委員会となり、推舉専任者を選出する。

b 次回委員会において承認を受ける。

c 同窓会総会において正式決定する。

は名簿は明確であるが発行部数に限りがあるので出来るだけ先輩に敬意を払う様にして送附して居ります。

C 母校の諸行事に対する協力

中村副会長より昭和五十三年度の協力としては卒業生に対して、五十三年度の名簿と記念品としてシヤーブ・シンルを贈呈したとの報告があった。

第二議案

「昭和五十四年度運営方針について」

A 役員の更・改選について

野村副会長より昭和五十四年度の役員については同窓会規約・並びに同内部規約に基づき、更・改選します。



定

なつておりますので五十四年度継会の期日をもつて、更・改選を行います。規約第五条に基づき会計監査は委員の中から互選し、会計監査は会員の中より選出し、更・改選を行います。

(一)学年代表委員・組委員
規約第四条により任期は一年となつておりますので五十四年度継会の期日をもつて更・改選を行います。選出に当つては規約第五条及び細則(三)に基づき学年代表委員は学年ごとの組委員の互選によって選出される。又組委員は組の全員より互選或は推薦による更・改選を行います。

(四) 同窓会規約並びに細則の改定
野村副会長より同窓会の運営並びに、事業推進実施にあたっては人・物・組織の円滑なる運用が必要であり、その基本となる同窓会規約、並びに細則は常に運営推進に実をもたらせる様な内容でなくてならず、今后更に同窓会の運営の強化を図り益々の発展を図るために左記の事項について改定を図りたいとの主旨説明があり万場一致で承認された。
改定の内容
a 役員・委員の任期
(現行条文)
第四条 本会に次の役員及び委員をおく。名譽会長一名、会長二

b 代表委員の改選については現在の代表委員の方のお取計いにより、交代のある場合は二月末日迄左記宛に送付願います。
c) 送付がない場合は再任となつたこととみなします。

送付先

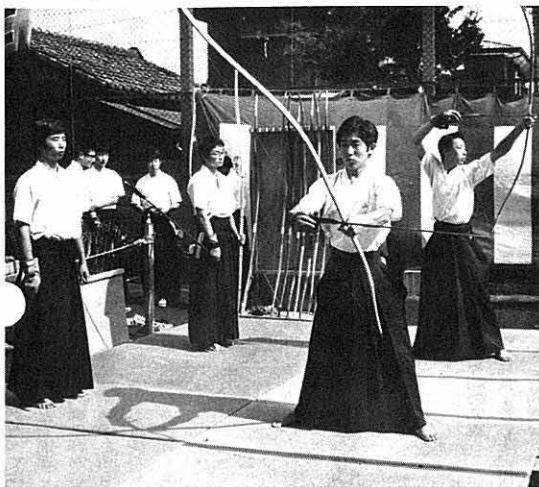
〒180 武藏野市吉祥寺東町三ノ
十八ノ十九丘四三一三三三四
岩村元雄宛（現総務委員長）

て

（イ）同窓会名簿の作成・発刊
由沢名簿編纂委員長が諸事情に依り退任され別掲の如く松崎和新委員長によりスケジュールが発表されたのでこの項省略

母校だより

昭和54年5月31日(木) 21
従つて、ここには、生徒会機関紙「すずかけ」(昭和五十三年版)に掲載されたクラブ紹介の記事や、生徒会各部決算書に盛られている簡単な「活動実績報告書」から拾つた成績しか提示できません。それでも、正確さに欠けるところがありますので、一目瞭然なグラフ化することも叶わず、杜撰の誇りを覺悟して、私の印象を述べさせていただきます。私のとすれば、不明の責は筆者にのみかかると異りますので、厚顔無恥の筆者にはさしたる苦にならざるところだかからです。



同窓会紙に掲載するから、クラブ活動の実態を報告せよとの命令を受けました。が、正直にいって、どのようにリポートしてよいやら遠方に暮れてしましました。

OB諸氏がご経験のように、本校には公式戦の戦績を報告させる義務をクラブに課していません。公式的活動の結果が、その都度、記録されるというしくみもとのとえられて、いませんので、集約的に、記録された帳簿類の引き継ぎは、まったくなく、具体的に、精細な紹介できないことを遺念に思いました。

なかなか盛況

飛ばずの成績に終止しました。
体操部も、熱心な顧問の指導下
で着実に力ををつけ、関東大会常時
出場と万丈の気を吐いています。

テニス人口の多い軟式庭球部も、昨年は六大学付属八校総当たり団体戦に、二連覇のリーグ記録を作るという偉業を成し、五十年頃まで

先行きに不安がありますが、昨年は部員が単一クラスということでもあつてか、気持が融け合い、なかなか意氣の合つた活動をしました

「体育部門」のクラブでは、ワーキング・リーフティングが少部員ながら、伝統の強みに支えられ、東京都を代表して、全国大会に選手を送り出しました。

排球部も、ここ数年来力を貯えました。昨年は関東大会春場出場の栄えを挙げました。

期待の硬式野球部は、五十二年度に大量の主力メンバーを卒業させた力を落し、その上、この年の実績がマークされ、一高を打ち碎いて自信をつけようとする他校の玉砕戦法の前に、昨年は鳴かずた。

部員の中には、器械体操を夢見て入部したものもいたようですが今は新体操の魅力にとりつかれてハッスルしているものが幾人か、

の低迷から脱し、追われる立場に立ちました。大学理事会の暖かい理解から、隣接地の買収も決まり、コートが今年中には一面増加する

英研部は、付属校間の交流を通じて、校内レベルからの脱皮を計り、美術部も、写生合宿・石膏デッサン等多面向的活動を行へ、その

ラグビー・アイスホッケーも等
力をつけ、バスケットも力を延ばして
います。

弓道部は、竹林派正統流国技、
会の演武で優勝者を出すなどの功
跡を残し、同じく古武道の剣道部
も、精神修養重視のクラブと仄
していましたが、一昨年末、技量
向上即精神練習に通ずると自觉
て面目を一新し、一段と気合が
つてきました。

の低迷から脱し、追われる立場に立ちました。大学理事会の暖かい理解から、隣接地の買収も決まり、コートが今年中には一面増加する

英研部は、付属校間の交流を通じて、校内レベルからの脱皮を計り、美術部も、写生合宿・石膏デッサン等多面向的活動を行へ、その

都大会で上位に進出し、軟式野球部も意氣軒昂なところを見せていました。サッカー同好会結成の動きと共に、其通する悩みは練習場がないということで、意欲や素質がないこと埋らせてしまう切なさを常にかがっています。新設の水泳同好会も、出するなどの懸念をしています。

英研部は、付属校間の交流を通じて、校内レベルからの脱皮を計り、美術部も、写生合宿・石膏デッサン等多面向的活動を行へ、その

「文化部門」のクラブでは、写真部の行動範囲の大きさに目を見張るものがあります。昨年は、六回の撮影会を東京近郊で持ち、恒例の写真展も好評でした。

考古学部も、埴生古墳群見学、荏原台古墳群調査、藤井貝塚調査、青梅地域表面採集と地道な活動を行い、成果を部誌「他人」に発表しています。

物理化学部は大気汚染調査と、リニアモーターカーの理論研究を二本の研究テーマに掲げ、その成績がガリ刷りながら六部の冊子に仕立てました。

無線部は、高三の四組に部員がいたより、後続部員が極めて少く

ラバンが最大の時舞台とする恒例の演奏会は、年と共にウォルテリチをあげて行くことだろうと期待されます。

技術・スキー・剣
「文化部門」 考古学部・無線
通信部・物理化学部・英語研究部
マンドリン・ギター部・写真研究
部 美術部
「同好会」 水泳同好会・バド
ミントン同好会・鉄道同好会

高校生活をより豊かなものにしたい
と希望する生徒達の自然の動きと言え
ましょ。そのいくつかをあげる
と、開幕・将棋同好会、アニメ同
好会、応援愛好会等々があります。
生徒達の多様な動きを、どのように
組織して指導体制を整えるか、
施設不足をどのように補うかが、
問われています。一方では柔道部
社研部等活動が停滞し、休部の止
むなきにいたったクラブも若干あ
りますが總じて、活況を呈してお
ります。ご声援を期待しながら、
稚駄な駄筆を閉じさせていただき
ます。

母校・同窓会の発展を祈る

法政大学第一高等学校
同窓会相談役

P T A 顧問

西田 実

T E L 〒111 台東区柳橋一丁目七一
八六一
(商業三期卒)

高島株式会社

常務取締役 田中耕作

TEL 〒104 中央区銀座一丁目十一
自宅 〒155 五六七一〇二一
四六八一〇〇六三
(商業二期卒)

東京四谷

「末廣鮨」

代表取締役

森 健

自宅 〒160 新宿区三丁目五番地
三三新五五宿三一区
一一四〇〇谷二二
(中学六期卒)

杉村建築設計事務所

杉村勝弘

事務所 〒160 新宿区三丁目五番地
TEL 〒160 新宿区三丁目五番地
(高校二期卒)

首都圏の
環境整備をリードする
第1~第2 井上ビル

井上商事株式会社
有限会社井上運輸部

取締役社長 井上泰賢

中央区日本橋茅場町2-11-4
TEL 668-8681
(中学7-8期卒)

夏 生ビール

- グループやお仲間の集いに ビヤパーティセットのご利用を
(10名~700名)
- お一人でもお気軽に ビヤレストラン 6/4~8/30の間 PM5:00~PM9:30
連日歌手、アコーディオン生演奏出演

渋谷駅前・渋谷東急文化会館7階

結婚式・各種宴会・出張パーティ

東急ゴールデンホール

◎ 6/20~8/31の間の結婚式は打掛無料サービス

お問合せ 03(409)4181